

第5回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 第5回稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成30年12月13日(木) 19:00~21:00
3. 開催場所 稲築公民館2階 講義室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
会 長 松熊満江
副会長 永富靖人
委 員 大力智司、山本真之、平岡真由美、平井由子、荒川孝子
松岡琢磨、井上剛、上野二郎、高津圭一
*欠席委員1名 橋本武彦
 - (2) 事務局
学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 北富真治
教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐、教育企画係 山口陽子
 - (3) 関係者
※碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画策定業務受託業者
株式会社 海渡設計
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び協議の内容

【議題】

- (1) 空間計画、平面計画について
- (2) 公立図書館併設の利点と課題について
- (3) その他

【協議の内容】

- (1) 空間計画、平面計画について
○空間計画、平面計画について、資料8に沿って説明を行った。(事務局)。
- (2) 公立図書館併設の利点と課題について
○公立図書館併設の利点と課題について、資料9に沿って説明を行った。(事務局)

説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○昇降口の方位や位置は決めているのか。また、1階集約案だとしても昇降口自体は小学校・中学校で別もあり得るのか。

→日常的な学校活動範囲は西側になるので、管理面を考えると西側ないし南側がいいと考えている。それぞれの昇降口もあり得る。(事務局)

- 昇降口の1・2階設置分離案では、中学生の動線はどうなるのか。
- 中学生の昇降口が2階の南側で、通学動線は現状と同じだろう。(事務局)
- 体育館と校舎との連絡通路はどうなるのか。
- 渡り廊下を設置し、雨等を防げるようにしたいと考えている。(事務局)
- 学校敷地内の段差にスロープを設置して、児童生徒が行き来できるようにしてほしい。
- 保健室は小学校・中学校で別に必要だと思う。中学生は思春期をむかえる時期でこころの相談等に訪れる生徒もいる。現状の稲築中学校をみても合同の保健室は厳しいと思う。
- ゾーニングのイメージがわからない。どのような校舎になるのか想像できない。
- 小学生が日常的に活動するエリアが1・2階なのか、別棟なのか、中学生はどのようなエリアがいいのか等、ゾーニング配置によって子どもたちや先生方の活動の仕方に影響する。今回は部分的に管理諸室と昇降口について協議していただいている。全体のゾーニングイメージについては、資料7参照。校舎の形や平面図はゾーニングが決まった後に面積等を考慮しながら決めていく。(事務局)
- 小中一体型校と小中一貫校の校舎形状での違いは。
- 校舎形状の違いではなく、教育内容での違いになる。小中一貫校は9ヵ年の教育カリキュラム。小中一体型校は小学校6ヵ年、中学校3ヵ年のそれぞれのカリキュラムである。(事務局)
- 昇降口については、中学生の自転車通学者と小学生の徒歩通学者との動線や、送迎車両との動線が交差しない位置がいい。
- 学校内のゾーニングについては、学校の先生方の意見を取り入れてほしい。
- 保健室については、保健室利用者の多くが運動場での負傷であるため、小学校の保健室は1階が良い。
- 職員室は見晴らしの良い2階に配置する方がいいと思う。
- 校舎をできるだけ東側に寄せて、西側にゆとりを持たせてスロープ的な通路を設けられれば低学年が2階でもいいのでは。
- 2階までスロープを設置できるのなら、2階に昇降口を配置し、1・2年生と管理諸室が同一階に配置できると思う。
- 保健室は緊急時に職員室と連絡がつきやすい、養護教諭が出張等で不在の際の対応がしやすい為、職員室と同一階にひとつで、室内を小学校エリアと中学校エリアを分けられる形が良いと思う。
- 小学生と中学生があまり入り乱れない方がいい。
- 小学校スペースと中学校スペースがそれぞれほしい。
- 1・2階に小学校エリア、3階に中学校エリアと階層によってのエリア分けや、小学校棟、中学校棟と棟毎にエリア分けも可能。ただ、基本的に共有できるものは共有していく方向なので、必ずしも児童生徒の動線が分離できるものではない。(事務局)
- 小中一体型校ならではの一体型の良さが表れる配置がいい。
- 図書館内で学校と地域を区別できるなら、一体にする必要を感じない。
- 教育委員会としては、地域に学校を残すことによって地域コミュニティの拠点施設としたい。一緒に公立図書館の機能を持たせることで図書館も地域に残していきたい。

○不審者が学校活動範囲に入り込めないように配慮してほしい。

→地域交流ゾーンと学校活動ゾーンの明確なエリア分けをすることで、エリア外にいる者に対して目が行き届きやすくなる。セキュリティを検討していきたい。(事務局)

9. 配布資料

(1) レジюме

(2) 第4回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 要点筆記

(3) 第5回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料

【資料8】稲築中学校区の管理諸室、昇降口位置比較について

【資料9】公立図書館併設の利点と課題